

第44回地域密着型サービス 運営推進会議 議事録

施設名：小規模多機能型居宅介護 MILK新

施設種類：小規模多機能型居宅介護

日 時：令和6年9月18日(水) 14時30分～14時55分

場 所：MILK新 地域交流室

出席者：

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	0人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市高齢者福祉課職員	1人
その他(施設長・施設職員)			3人

1) 利用状況

登録者数 (9月1日現在) 11名 男性 3名 女性 8名
要介護度別

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4名	2名	3名	2名	0名

地域別

出雲	斐川	平田
2名	9名	0名

8月21日 他施設へ 1名 男性 斐川
9月1日 初回利用 1名 女性 斐川

2) 行事報告

○レク活動

施設内菜園のトマト収穫・つりゲーム・紙芝居・脳トレ・ホワイトボードレク、七夕飾り

○地域交流

○スタッフ研修

社内研修 安全運転講習会 (保険会社) 全職員

社外研修 安全運転管理者等法定講習 1名
出雲市ヤングケアラー支援・ケアマネ交流 1名

3) 事故・ヒヤリハット報告

○利用者様の離設

夕方、落ち着きがなく動き始めたため居室へご案内後、頓服薬を取りに行った。その間に小規模側ではない出口から離設された。ご不在にすぐに気付き、他職員に応援を求め、付近を捜索。まもなく施設の近くを歩いておられるのを発見した。その際、利用者様は地面にしゃがみこもうとしてバランスを崩し、頭部がアスファルトに当たり出血される。病院にて受診後帰設。

原因はその時間帯は二人配置としていたが、薬を取りに行く間、もう一人の職員に声をかけず本人様から離れてしまい発生した。対策として、夕方から落ち着きがなくなる時間帯にはマンツーマンの対応を続け、職員間の連携を密にすること、職員が手薄になる時間には玄関扉などのセンサー類を稼働させること、処方された頓服薬を適時服薬して頂くこととした。

4) ○定例避難訓練および消防訓練

避難訓練 7月 25日

5) 意見交換

高齢者あんしん支援センター様より)

意見：サービス提供状況表を見ると定期的に訪問を利用される方はおられないみたいですが？

回答：毎週利用される方は出雲の方で週2回火・木午前と午後2回です。

高齢者あんしん支援センター様より)

意見：サービス提供表5番の方も月に一度訪問ですか？

回答：利用は週4回通いで火曜日は訪問となっておりますが、家族様がお休みのときは通いも訪問も休んで良いと家族様がおっしゃられ回数に変動があります。

高齢者福祉課様より)

意見：サービス提供状況表4番の方は他施設へはどちらですか？

回答：老健です。以前から老健に空きがあると3ヶ月老健に入所されます。

高齢者福祉課様より)

意見：家族様に頓服薬使用の話をするのは事後ですか？またどういった時に飲ませるのかマニュアルはありますか？

回答：事後です。今回の頓服薬は不穏時に飲むよう処方されています。

意見：不穏時の判断はどうされていますか？家族に聞いてから飲ませるのか等マニュアルはありますか？それとも職員の判断で飲ませていますか？

回答：その時に応じて職員達で状態を見て相談し判断しています。最近は飲んでいただくことがなくなってきたが、利用当初特定の状況や時間帯になると大きな声を出され、興奮状態になってお話ししが出来ず、職員に対して手が出る事も多くありそういった状況の際に飲んで頂きました。

高齢者福祉課様より)

意見：飲んで頂く時に家族への連絡はしていますか？

回答：事前にこういった時には飲んでもらいますという事を説明して、家族様に承諾して頂いております。

高齢者福祉課様より)

意見：今後、頓服薬を飲んで頂く際に家族様に連絡をしてから飲ませてあげる考えもありますか？

回答：頓服薬については何もないうちからの事前服用は考えていません。そのため、必要が生じたのが深夜であったり家族様が仕事中の時間帯であったために連絡がとれず服薬が遅れる、また出来ないという事態を避けるため、家族様には施設の判断でお飲みいただくことを承諾して頂いております。

高齢者福祉課様より)

意見：こちらの判断で飲ませて良いという了解を得ているという事ですね。

回答：はい。

高齢者福祉課様より)

意見：頓服薬は不穏時などに飲ませるように処方され、他施設でも使用されていますがどういったタイミングで飲ませているのか、施設によっていろいろだと思います。他施設では家族に連絡をしてから飲ませる所もあったので取り決めがあるのかと思いました。

高齢者福祉課様より)

意見：取り決めはないですがこの方のケースの場合だとこの方法という事でよいのでしょうか？

回答：そうです。利用者様によって状況が違うので、全体のマニュアル化は難しいです。この方については、自宅に1人で住んでおられ、もともと不安があるところへ認知症も進み、去年亡くなられた奥様を探しに深夜外出し9号線の真ん中で転倒、救急搬送されました。そういうことを起こさないために家族様や先生と相談して頓服の処方をして頂く形を取らせて頂きました。

MILKより)

意見：こちらからも伺ってみたいのですが、服薬について市へ事故報告などが上がってくると思いますが、どういった事例が多いですか？服薬事故について特に注意喚起したい事とかありますか？

高齢者福祉課様より)

回答：市への報告に誤薬はよくあります。人的ミスが多いです。名前を間違えて病院に行かなければならない、薬によっては飲んでは危険なものもあって入院される方もいたりするので、薬は気を付けて頂きたいです。ダブルチェックをしていても思い込みで間違えていたなど報告で上がってきていま

す。大きな事故にならなければよいですが、飲ませるタイミングなどそれぞれのやり方でも何かあった時にはきちんと家族とのやり取りができていれば問題は無いかと思います。飲ませた後に様子を見て頂くのは大事かと思います。

MILK より)

意見：精神を落ち着かせる薬ですので出来るだけ使用したくはありませんが、同じ薬でも効き目が違うので注意していかなければならない、また飲ませた後どうであったかも職員間で情報を共有していかなければならいと思います。

次回開催は 令和 6 年 11 月中旬ごろの予定です